

## 「就職活動は、まず業界を知ることから！」— 業界研究セミナーを全5回開催

将来の進路選択のために、今一番必要なのは、さまざまな業界について、まず知ること。キャリア支援課が開催した全5回の業界研究セミナーでは、各業界の一端で活躍する講師たちをお招きし、具体的な仕事内容についての話や、業界を目指すうえでのアドバイスなどをいただき、学生たちが業界や職業への理解を深める貴重な時間となりました。

### 業界研究セミナー

- 第1回 業界研究入門 株式会社毎日放送
- 第2回 マスコミ業界 株式会社毎日放送
- 第3回 情報サービス産業(IT)業界 株式会社エヌエージ
- 第4回 金融(証券)業界 みずほ証券株式会社
- 第5回 金融(銀行)業界 株式会社大正銀行

#### 第1回:業界研究入門 就職活動は、好きな人をリサーチするのと同じこと。



株式会社毎日放送人事局キャリア推進部長 大谷邦郎氏

講師にお招きした株式会社毎日放送人事局キャリア推進部長の大谷邦郎氏がまず強調されたのは、「笑顔」の大切さ。笑顔は会話を呼び、情報を呼び、チャンスと呼ぶ大切な武器になるのです。その上で、業界研究をする際に最も重要なのは「知りたい!」という強い気持ち。それは恋愛によく似ています。好きな人の趣味嗜好をリサーチしたり、合う話題を探したりと、相手に好きになってもらう努力は惜しませませんよね。「業界研究もこれと同じ。知りたがり熱意と、

伝えたいという強い意志があれば、必ず企業の面接官にも伝わる。」ユーモアにあふれた講義で、大谷氏のお話で、学生たちは大いに笑い、目を輝かせていました。



#### 第2回:マスコミ業界 舞台裏を知れば、本当に目指したいものが見えてくる。



株式会社毎日放送人事局キャリア推進部次長 松澤良治氏

講師は、毎日放送人事局キャリア推進部次長の松澤良治氏。一見華やかなマスコミ業界の舞台裏のエピソードを具体的に紹介いただきました。PRESSと記されたジャケットを着用し武器携帯をアピールするという政情不安定な国での取材時の心得や、視聴率から見る時代ニーズの変遷といったお話を通して、仕事の緊迫感や裏側の情報を知ることができました。最後に、サッカーの本田圭佑選手が「プロサッカー選手になり40億円稼ぐ」と宣言した「イン

カンテション」をご紹介。これは、自分にプラスの力を与える言葉を、強い感情を込めて宣言するという意味。「自分が力になってくれるので、ぜひ実践してほしい。」松澤氏は力強く語っておられました。



#### 第3回:情報サービス産業(IT)業界 やりたいことをイメージすることがIT業界への近道。



株式会社エヌエージ代表取締役 佐々木道正氏

株式会社エヌエージ代表取締役、佐々木道正氏を講師にお招きました。情報サービス産業はさまざまな業界を便利にするために役立つ仕事をしていることを、金融業界のATMや流通業界の宅配便システム、運輸業界の電車のダイヤ編成や座席予約システムなどといった具体的な例を挙げて、分かりやすく説明いただきました。この業界に興味があるのなら、どんなソフトウェアを作りたいかをイメージし、業界についてよく研究する必要があると、多種多様に

開発されているソフトウェアを創造するIT業界の厳しさと面白さを教えていただきました。



## 02 業界研究セミナー 第5回「銀行」2014.11.20

### 自分で戦略を立てて行動できるのが、外回り銀行員の醍醐味。

第5回目の業界研究セミナーは11月20日、株式会社大正銀行恩智支店長・尾田茂一氏をお招きし、「銀行業界」についてご講演いただきました。尾田氏は1990(平成2)年本学卒の先輩で、在学中は硬式テニス部のキャプテンを務められました。

#### 尾田 茂一氏

Profile  
1990(平成2)年に株式会社大正銀行入社。神戸支店、組合書記長・委員長、塩江支店長を経て、現在は本学に近い恩智支店長として活躍中。



銀行は人気のある業種なので、熱心なメモを取る学生も多く、本セミナーへの関心の高さが感じられました。銀行と一口にいっても都市銀行、地方銀行、第二地方銀行とさまざまな業種があり、今回は地域に密着した事業を展開する大正銀行の尾田氏から、外回りと呼ばれる営業活動を中心に貴重な体験のお話を伺いました。先方の事情を配慮した訪問時間の決め方や、長いスパンで自身の目標を立てるメリット、自分の頭で考えて行動することの価値など、そこには就職活動にも通じる重要なポイントが沢山詰まっていた。

また、事業マッチングのイベントなどへの参加に積極的な姿勢が窺えました。さらに、産休や育休はもちろん、保育園に子供を迎えに行きやすいよう子育て中の社員の終業時間を早くするなど、女性のワークライフバランスへの配慮が大正銀行では実施されていることがわかりました。

「実際に銀行の店舗に行って、しばらく椅子に腰を下ろし、その場の雰囲気を感じてみる。そうすると自分の志望に合った銀行かどうか分かる」というお話は、これから銀行

への就職活動を考える学生への嬉しいヒントになりました。人生の進路を左右する選択を間違えないためにも、すぐにも実践できるアドバイスは貴重です。

学生一人ひとりに向き合いながら自分自身の体験を語りかける尾田氏の講演は、まさに長年の営業活動のキャリアが反映されているようでした。日頃パワーポイントを使ったレクチャーに慣れた皆さんにとって、新鮮な90分になったことでしょう。



## 01 業界研究セミナー 第4回「金融(証券)」2014.11.13

### 世界の金融市場を相手にする仕事だから、勉強し続けることが必要な業界です。

第4回の業界研究セミナーは、まずは証券株式会社から4名の方を講師にお迎えし、「金融(証券)」をテーマに開催されました。証券業界の現場で働く方々の貴重な話を聞くと、会場には多数の学生が詰めかけました。

#### ■金融(証券)業界セミナー 講師プロフィール



みずほ証券株式会社 企画グループ 経営調査部 投資教育推進室 室長 濱崎 祐一郎氏  
みずほ証券株式会社 企画グループ 経営調査部 投資教育推進室 大坪 舞氏

海外での業務経験が豊富で、現在は投資教育の普及を行う部署で活躍される濱崎氏は、将来の年金不安により自分で資産運用することが重要になっていることや、証券は直接金融で銀行は間接金融であることの違いなどをパワーポイントで丁寧に分かりやすく説明いただきました。

そして、難波支店長の郡司掛氏が、今年入社したばかりの新入社員金山氏とともに登場。学生たちに年代が近く就職活動の記憶も新しい金山氏に、郡司掛氏が業界を知る上で学生たちが気になるであろう事情を質問する形で進められました。証券会社を選んだ理由について、金山氏は「命の次に大事といわれるお金を預かる仕事に関わることで多くの方と深い信頼を築けると考えました。証券は銀行に比べて商品が幅広く揃っていることに魅力を感じました」と話しました。また、一日の仕事の流れについて「証券会社の朝は早いです。24時間動く世界のマーケットを相手にしているので、始業の前にその日の営業方針を考える会議が開かれます。始業後は営業の電話をかけた後お客様の電話を受けたりして過ごし、午後は外回りの営業に

出ることが多いです」とのことでした。学生たちは、入社した後の姿を想像しやすいお話をメモを取りながら聞き入っていました。

その後、入社5年目という大坪舞氏が、証券会社で働いて得たものについてお話いただきました。「学歴や男女の区別なく数字という実績が評価される世界で、仕事にやりがいがあると考えて入社しました。営業で500人ほどのお客様を担当し、大きな企業の社長さんとお客運用について対等に話することができキャリアアップにつながったと実感しています」と、充実した日々が目に見えるようなお話をいただきました。最後に濱崎氏の「世界の金融市場を相手にしている証券業界では、継続的に勉強することが大切です」という、キャリアアップのために必要なことの説明が締めくくりとなりました。



## よく学び、よく遊び、学生生活を満喫。証券業界はそんな社員が活躍しています。



みずほ証券株式会社 難波支店 支店長 郡司掛 司氏  
Profile  
1987(昭和62)年、みずほ証券入社。熊本、姫路、神戸、広島各支店勤務の後、人事研修を経て、その後、浦和、川崎の支店長を経て、現在難波支店長として活躍中です。



みずほ証券株式会社 難波支店 コンサルティング部 コンサルティング課 コンサルタント 金山 泰子氏

証券マンとしての人生で、人事研修担当だった数年を除き、すべてコンサルタント業務を行ってきました。コンサルタント業務というのは一般企業では営業に当たる仕事です。取り扱っている商品の価値が変動するというのが証券業界の大きな特色で、不確定な要素が強いため、信頼される人でないといけません。コンサルタント業務の醍醐味は、受け身の営業じゃなく、自分で勉強したことで勝負できる仕事だということです。地道な努力を粘り強くやった結果として、一気に成果が出ることもあります。学生の皆さんにまず言いたいことは、今のうちにいろいろな業界を見て欲しい

ということ。アンテナを張り、好奇心を広げてください。社会に出てからも、異なる業界の知識は大いに役に立つでしょう。この業界の知識はものすごく役に立ちます。ぜひ、学生生活を満喫してください。勉強することはもちろん大切ですが、友達や先生との交流も豊かにしてください。遊ぶことも大切です。それが実社会での社交力につながります。コンサルタント業務で好かれるのは、元気にハキハキ話す人。私たちのメインの顧客は年配の方々です。自分のおじいちゃん、おばあちゃんに可愛がってもらえるような人が伸びやすいですね。「大学卒業した後の若造に何がわかる」と

思っている社長さんはいっぱいいます。しかし、質問を投げかけられて宿題をもらったら、一生懸命考え、調べて顧客のためになろうとする人は可愛がられます。そして証券業界は男女差がなく、女性が活躍できる仕事でもあります。将来の就職活動へのアドバイスとして、ありのままの普通の会話ができることを第一に挙げたいと思います。例えば面接時に、熱意を示すために「この業界一本に絞っています」というより、他の業界も迷っているなら、それを素直に言えれば、正直であることが一番です。

## 目からウロコの新発見がいっぱい! 業界研究セミナーに参加した学生たちの声!

### 各業界で活躍する講師の方々のお話はいかがでしたか?

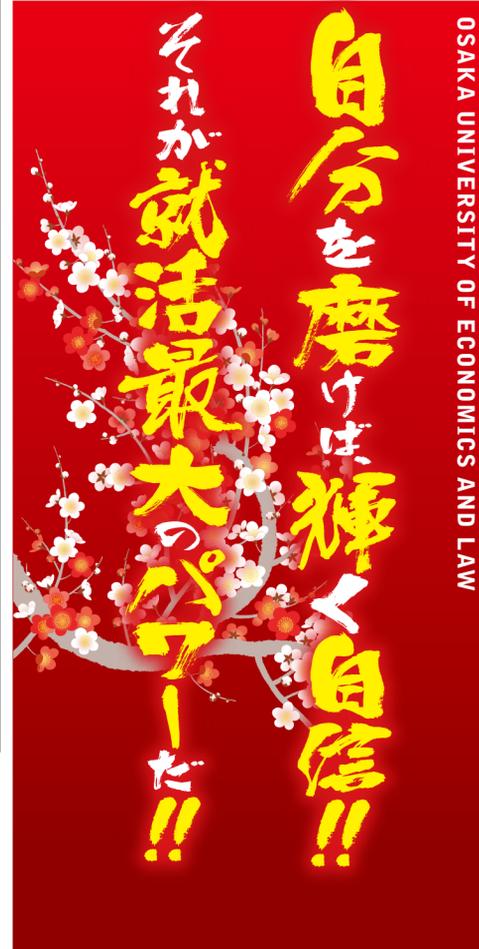


加賀 舞舞さん (第4回に参加) 経済学部 会計コース3年  
証券のセミナーに参加し、社員の一日の仕事について具体的に聞くことができて、証券会社に入った場合の自分の働く姿がイメージできました。とても勉強になったので、他業界のセミナーも増やしていきたいと思っています。

杉原 孝英さん (第4回に参加) 経済学部総合政策課コース3年  
証券業界は非常に面白いと耳にしていたのですが、金融商品の種類は幅広く、資産運用に関わることができると感じました。このセミナーを契機に他の業界も積極的に研究していきたい気持ちになりました。



山本 知佳さん (第1回~第3回、第5回に参加) 経済学部会計ファインコース3年  
これまで3回参加して印象に残っているのが「情報サービス(IT)業界」のセミナー。さまざまな業界のシステム構築に関わり、得意なパソコンを活かせる業界だと知りました。「業界研究入門」は、就職活動の厳しい時期の乗り換え方とか、面接では笑顔が大切といったアドバイスをいただけ、就職活動に臨む気持ちがラクになりました。各セミナーを通して、自分の先入観だけで目指す業界などを決めてはいけないと知ったことが大きなきっかけです。



# Career Vision

いま必要なことをやる！それが就職活動成功の秘訣。

## 2015年度

### 内定を勝ち取った学生にインタビュー！

大学生生活の集大成である就職活動を勝ち抜いた学生たち。就職先を決めた理由や就職活動中のエピソード、これから社会人として活躍する意気込みなどについて語ってもらいました。

内定先 滋賀県 湖南市役所

公務員の面接試験に、企業に就職活動をした経験が活かしました。

■荒川翔太郎さん 法学部 企業人コース 4年生 出身高校：滋賀県立瀬田工業高等学校

私はこれまで何度か進路変更の機会がありました。入学当初は法科大学院に進学して法曹界へ進むつもりでしたが、学ぶうちに長期間にわたって親に負担をかけたくないと思うようになり、企業人コースに移りました。就職活動は、順調に採用選考に進みながら、複数の企業から内定をいただくことができました。そんな時に地元の滋賀県の公務員募集を知りました。父が自治会に関わっていた関係で、地元に戻ってその活動を手伝った経験もあり、地元の市役所で働きたいと思うようになって目標を切り替えました。内定してこの企業を手伝って辞退し、公務員の採用試験に挑戦しました。面接では想定していない質問が多く、企業も30社ほど受けた経験が活きたと実感しています。ディベートやグループディスカッションの訓練を重ねたキャリア演習と就職フェアも役立ちました。何度失敗してもあきらめずと先生方に言っていたように、その言葉を信じて11月という時期に内定をいただくことに感謝しています。

内定先 株式会社 但馬銀行

取得した資格を活かして、地元の活性化に役立ちたい。

■堀尾美未さん 経済学部 会計ファイナンスコース 4年生 出身高校：兵庫県姫路市立師範高等学校

進学先として簿記を学べる経済学部を探していた時に、正課授業とは別に無料で受講できる本学のS-Courseを知りました。さらに指定校入試で合格すると資格講座を1年間に2講座無料で受けることも魅力を感じて入学しました。簿記やファイナンシャルプランナーなどの資格を取得したこともあり、資格を活かせる仕事を目指して、金融業界を中心に20〜30社ほど回りました。私は人前で話すことが得意ではなく、集団面接では、つい聞き役に回ることが多かったのですが、キャリア支援課の方や先生方に黙ってばかりでは不利だとアドバイスをいただいたり、面接の練習をさせていただいたり、内定を勝ち取ることができました。

内定先 兵庫県 警察本部

夢と志望理由をはっきり言えたことが大正解！

■三浦悠弥さん 法学部 公務員コース 4年生 出身高校：兵庫県立岡崎高等学校

中学の頃から先生に「体育会系的なリーダーシップをとる仕事に向いている」と言われ、警察官という志望理由をはっきりしたのは高校3年生の時です。内定が決まるまでに筆記試験、小論文、体力試験、面接、適性検査などさまざまなプロセスがありました。筆記試験はあくまでも通過点で、これにばかり集中すると合格につながりません。落ちるとすればほとんど面接です。面接は集団と個人の2回あり、個人面接は面接官4人と向き合うので圧迫感がありました。志望動機、将来の夢をかなり突っ込まれました。採用する側とすればせっかく採用した新人は辞めて欲しくないの、学生の本気度を厳しくチェックするのです。「私自身バイクが好きで、将来の夢はバイクレイダーになることです。バイク愛好家は飛ばし屋さんが多く、男女を問わず軽装で走る人もたくさんいて、事故を起こしてから後悔するのですが、そうな前に気づかせてあげたいと思います」と答えました。警察官をめざすならば、自分がなぜこの道に進みたいかを在学中にしっかりと考えておくことをお勧めします。

内定先 株式会社 徳島銀行

志望する徳島銀行が参加する合同説明会に8回出席しました。

■品川祥仁さん 経済学部 総合経済コース 4年生 出身高校：徳島市立高等学校

高校の卓球部で活動していた実績などが認められて推薦入試で本学へ進学しました。本学の卓球部では、他府県出身の強い選手にもまれながらレギュラー争いが激しかった。平日で約4時間、休日からは夕方まで練習しました。地元の就職を考えていたところ、卓球でお世話になった恩師が徳島銀行に勤務していることを知り、職場についてお話を伺う機会があり、私も徳島銀行で働きたいと思うようになりました。恩師には、徳島銀行を選んだ角度から見るために、他の業界や企業を知る必要があるとアドバイスをいただき、他の銀行や生協などにも挑戦しました。私は、人事の方に顔を覚えてもらうために徳島銀行が参加する合同説明会には大阪や徳島で計8回出席し、声をかけていただけようになり、キャリア支援課には就職活動中に週3回は通ってお世話になりました。面接の練習に参加した時、最初は手汗がかくと緊張しましたが、姿勢を正して表情を柔らかくといったご指導をいただいたり、練習を重ねるうちに自分の考えなどをしっかりと話せるようになり、内定を勝ち取ることができました。



### 第一印象で、内定を勝ち取る。ビジネスマナー対策

## 就活 虎の穴道場

#### 第7回 就活に心がけたい「身だしなみ」ポイント

身だしなみは就活に対するあなたの「気持ち」のあらわれです。清潔感がある端正な身だしなみは「自信」につながります。

**メイク**

自然な髪色で、短めのヘアスタイルがおススメ。髪はNG。男女とも、髪が見えたら思いが伝わりやすいといわれています。

**顔・メイク**

女性は濃すぎないナチュラルメイクで。男性はヒゲの剃り残しがないかチェックしましょう。

**爪**

短くきれいに切りましょう。ネイルアートは就活にはNGです。

**アクセサリ**

男女ともつけないのが基本。つけるなら女性はシンプルなネックレス程度にしましょう。

**服装**

清潔な印象のスーツで黒、紺が無難。スカート丈は座った時に気になる短すぎるものは避けましょう。男性はスポーツの折り目がピンと通っているように。

**靴**

黒色でシンプルなデザインの靴を選び、ピカピカに磨いておきましょう。

**髪型**

自然な髪色で、短めのヘアスタイルがおススメ。髪はNG。男女とも、髪が見えたら思いが伝わりやすいといわれています。

**顔・メイク**

女性は濃すぎないナチュラルメイクで。男性はヒゲの剃り残しがないかチェックしましょう。

**爪**

短くきれいに切りましょう。ネイルアートは就活にはNGです。

**アクセサリ**

男女ともつけないのが基本。つけるなら女性はシンプルなネックレス程度にしましょう。

**服装**

清潔な印象のスーツで黒、紺が無難。スカート丈は座った時に気になる短すぎるものは避けましょう。男性はスポーツの折り目がピンと通っているように。

**靴**

黒色でシンプルなデザインの靴を選び、ピカピカに磨いておきましょう。

※左：へきと（新年の髪型）

### ビジネスの実践知識を学ぶ

## 企業研究キーワード

知的財産とは、「もの」ではなく「財産の価値をもつ情報」のこと。産業界の知的財産としては発明、考案、意匠（デザイン）などがあがり、それらは特許権、実用新案権、意匠権、商標権などといった個別の法律で守られており、コンピュータソフト、データベースなども知的財産に含まれます。また、音楽、小説、映画といった文化的な創作に関しては著作権制度で守られています。政府の「知的財産立国」をめざすという方針を背景に、産学官連携による新技術の開発、企業における知的財産戦略への注目など、ビジネスの世界でも知的財産への意識が高まっています。

### 読めるかな？

## 漢検に挑戦！

# 劈頭

ヒント：新年の... 答えは虎の穴道場の下

### 知っておきたい 時事問題講座

#### Vol.7 地方創生(ちほうそうせい)

第二次安倍内閣が掲げた政策のキーワードの一つ。一言でいえば、日本の各地方が、それぞれの特色・資源を生かして魅力アップを図っていくというものです。その理念は「まち・ひと・しごと創生」というフレーズで表現され、政策の主要な柱としては「東京一極集中の解消」「地域社会の問題の解決」「地域における就業機会の創出」があげられています。農業、観光、科学技術イノベーションなどさまざまな起点が地方創生のあり方として想定されていますが、具体的な取り組みは今後の課題となっています。

### 警察官、消防官 —— 命を守る仕事をめざす人に、在学中に取り組むべきポイントをアドバイス。

本学第1期生、元奈良県警芝署長、現在は本学の公務員特別演習アドバイザー、西口善規氏がすべての学生たちに贈る、熱く、深いメッセージ！

本学法学部卒業後、奈良県警察本部に入職し、警察官として37年間勤め、勇退後、2年間消防本部で勤めました。主に刑事部、生活安全部といった捜査部門で活動し、銃器・薬物いわゆる風俗犯罪の取り締まりにも従事しました。最後は奈良県警芝署署長を経て警察本部刑事部参事官を最後に警察官人生を締めくくりました。振り返って、人生に悔いなし、この道を選んで良かったと心底思っています。

「消防官も警察官も「命をかける」仕事です。「命を捨てる」仕事ではありません。どこかかかるといいます。命をかけて正解をつめ、ということ。災害や悪と戦う仕事ですから、負けることができない仕事でもあります。

こうい話を学生にしますと、「怖がりでも警察官になれますか」という質問が出ました。恐怖のない人間なんていません。「恐怖に打ち克つために努力するのが警察官の仕事です」と私は答えました。

一般企業であれ、公務員であれ、どんな仕事でも、自分のため家族のためという前に、社会のために役に立つことが大事です。そのことが本当に分かっていれば、命をかけてやりぬくことができます。

そして、被害者の無念を晴らすことができるのは警察だけです。奪われた命はもどってこない、盗られたお金は取り戻せないうちもありません。しかし、悪事を働いた犯人を警察に捕らえることができます。そのことで被害に遭われた方の心の痛みを軽くすることができます。それは他の仕事では味わえない喜びです。

今の学生には、勉強や就職を支援するカリキュラムがたくさんあります。私が学生たちによく言うのは、恵まれた環境を生かして「苦手を克服しなさい」ということ。自分の弱みを克服しなさい、それ強いものはありません。そして合格が目的ではなく、自分が選んだ職業をやりぬく覚悟が大事なことだということを心に留めてほしいですね。

さらにもう一つ私がいつも学生たちに言うのは「金太郎飴になるな」です。どこから切っても同じ面が出てくる金太郎飴ではなく、自分の個性を豊かに育てて欲しいということです。採用する側も個性的な優秀な学生は求めていません。

就職活動において個人面接はほど重要で、面接官は学生の本当の姿を見ようとしています。自分を飾って見せようとしても、「それは本当の気持ち？」と問われ、うわべだけの言葉はすぐに見破られます。ですから「正直である」ことが一番大事です。自分の思いを正直に伝えることです。自分の思いを正直に語れないということは、何か自分に足りないところがあるということです。その足りない部分を学生時代に磨いていけばいいのです。

「がんばる」という言葉は禁句にしています。がんばるのではなく「一所懸命」にやるこそが大事です。自分が置かれた所でベストを尽くせばいい。一所懸命、時には一生懸命にやりさえすれば、たとえミスしてもアドバイスがもらえる。しかし「がんばったの？」と聞かれても答えられない。そして最後は「ケ・セラ・セラ」です。一所懸命、一生懸命にやりさえすれば、あとはなるようになる。それが人生だと思います。

西口 善規氏

Profile  
大阪経済法科大学を卒業後、奈良県警察本部の警察官に。警察採用試験の面接官などにも従事。2012年に警察を勇退し、その後消防本部で2年間勤務。現在は豊富な経験を生かして学生たちの指導に当たっている。

### 特別講義 「警察官の仕事とは」

現職採用担当とプロの鑑識官が現状を語る！

警察官を就職先に考えている学生たちを対象に、このほど特別講義「警察官の仕事とは」を、奈良県警察本部から2名の現職の方を講師にお招きして開催しました。

採用に関することから、今注目を浴びるプロの鑑識官の仕事内容まで貴重な情報満載の内容で、学生たちは真剣に耳を傾けていました。

■採用担当  
北久保 孝行氏  
奈良県警察本部 警部補  
警務部警務課 人事第二係長

警察官を就職先に考えている学生たちを対象に、このほど特別講義「警察官の仕事とは」を、奈良県警察本部から2名の現職の方を講師にお招きして開催しました。

採用に関することから、今注目を浴びるプロの鑑識官の仕事内容まで貴重な情報満載の内容で、学生たちは真剣に耳を傾けていました。

■鑑識  
水野 博司氏  
奈良県警察本部 警部  
刑事部鑑識課 課長補佐

科学捜査の進歩で重要性が増している鑑識の仕事。

30年警察官をやってきた中で、平成16年の小1女児誘拐殺人事件が特に印象に残っており、奈良県警察本部が一丸となった捜査により犯人を逮捕できたことが警察官として大変やりがいを感じたことでした。また刑事ドラマによく見られる刑事が死体を囲みながら推理し合うような場面が、実際の現場でもあると思うと驚かされました。「DNA鑑定を考えた時、死体の前で刑事がマスクもなしに会話をすると、刑事の唾のしぶきが飛びDNAが死体についてしまうのでありえないのです」と分かりやすく解説してくださいました。犯罪捜査の重要な武器となる指紋捜査では、鑑識官独自の技術が活かされるという貴重な情報もいただきました。防犯カメラの画像解析や身元の確認業務など、プロの鑑識官ならではの興味深いお話に、学生たちは聞き入っていました。最後に「鑑識の仕事は若手の育成が急務です。今回をきっかけにぜひ興味を持ってもらい、将来一緒に仕事をできることを期待しています」との熱いメッセージをいただきました。

### 特別講座「Be磨女会トレーニングセッション」

## 「磨女は浴衣をSelf着付け☆」を開催！

### 「着付けとマナー」を学んで、地元FM局の公開録音に参加！

7月16日(水)、女子学生のためのキャリアサークル「Be磨女会」の、大好評の第2回トレーニングセッションが、浴衣の着付けをテーマに盛りだくさんの内容で行われました。

**浴衣を「自分で」着付ける講座**

30種類の浴衣の中から、好みのデザインを選んだ後、講師としてお迎えしたアカデミーさまの学院の光岡夏子先生から、美しい浴衣の着付けについて指導をいただきました。

**地元FM局でダンスに挑戦！**

歩き方マナーなどのレクチャーを受けた後、大型商業施設「アリオ八尾」でのコミュニティFM局「FMちやう」の公開録音に参加。着付け体験ながら、MCさんとのトークライブにも挑戦。メンバーは緊張しながらも笑顔でさまざまな質問に答えて会話を弾ませていました。

**「知力」「行動力」「粘り強さ」「女子力」を学び、充実のセッションに！**

この講座開催の目的は2つ。1つ目は、浴衣という「衣」を通して、改めて日本の文化を体感すること。2つ目は、「衣」の文化から日本人の自然観や、物を大切にすること、学んでいくこと。これらをしっかりと学びながら、五感を働かせた体験を通して、磨きあがり、経験によって確実に大きくなっていくという手ごたえを掴むことができたのではないだろうか。参加した女子学生達の表情には、そんな達成感が溢れていました。